

# 生坂村誌 歴史・民俗編 目次

口 絵

発刊のことば

郷土の歩みと誇り……………二

## 歴史編

生坂村の歴史のあらまし……………六

### 第一章 考 古……………九

第一節 生坂村の埋蔵文化財……………九

一 生坂村の遺跡……………九

二 調査研究のあゆみ……………九

第二節 縄文時代……………三

一 縄文文化の展開……………三

二 縄文時代の遺跡……………四

1 縄文早期 2 縄文前期 3 縄文中期 4 縄

文後期 晩期

第三節 縄文時代の生活……………五

一 住居と集落……………五

二 食生活……………五

三 服飾……………六

四 精神生活……………六

第四節 弥生時代 古墳時代……………六

一 弥生時代……………六

二 古墳時代……………六

第五節 奈良 平安時代……………六

### 第二章 古 代……………三

第一節 郡とその範囲……………三

一 筑摩郡……………三

二 安曇郡……………三

三 更級郡……………三

第二節 郷の所屬と範囲……………三

一 麻績郷……………三

二 前科郷	三	二 村の発生 沿革	六八
三 節 古氏族の日置部氏	三七	三 村の役人	六九
四 節 古社寺	三九	1 三役人	六九
一 古社	三九	2 村役人の給与	七〇
1 日置神社	三九	3 村役人の引き継ぎ	七〇
2 大日向神社	四〇	帳	七〇
3 その他の古社	四〇	四 五人組制度	七五
二 古寺	四〇	1 五人組の実態	七五
第五節 古代の交通路	四二	2 五人組の守るべき条目	七五
一 東山道	四二	五 鉄砲改め	九八
二 地方への道	四三	六 御触書 御条目	一〇〇
第六節 郷の分解 郡境の変化	四四	七 村定め	一〇六
一 郷の分解から庄園と国衙領とに分化	四四	八 元祿の国絵図作り	一〇六
1 庄園	四四	1 絵図	一〇六
2 国衙領	四四	2 枝郷開発の調査	一〇六
二 郡境界の変化	四四	九 領主の巡見	一一二
第七節 奈良 平安時代の生活	四五	1 水野忠周の御巡見	一一二
一 御祓くばり日記にみる氏人	七六	2 戸田光慈の御巡見	一一二
第二章 中世	四六	第二節 戸口	一一五
第一節 城館跡	四六	一 宗門改めと宗門改帳	一一五
一 関係した地名	四六	1 宗門改帳	一一五
二 部落別関係小字名	四六	2 宗門改めの様子	一一五
三 個々の城館跡	四六	3 寺院の宗門改め	一一五
4 宗門送り(縁組証文)	一一五	4 宗門送り(縁組証文)	一一五
第二節 中世地侍の動向	四五	二 人口 家族構成	一一〇
一 大塔合戦と宇留賀氏 大日方氏	四五		
二 室町前期の日置神社と日岐郷支配	四九		
三 戦国時代の日岐氏	七〇		
四 『御祓くばり日記』にみる氏人	七六		
第三節 領主と村	八二		
一 交代が多かった領主	八二		
1 石川氏	八二		
2 小笠原氏	八二		
3 戸田氏	八二		
4 松平氏	八二		
5 堀田氏	八二		
6 水野氏	八二		
7 幕府代官時代	八二		
8 戸田氏	八二		
9 代官	八二		

第三節 土地制度

1 家族構成 2 年齢構成 男女の差 3 婚姻圈

一 田畑の開発と検地

1 天正検地 2 慶長検地 3 寛永検地 4 慶安検地 5 新切検地 6 田畑斗代入下げの再検地 7 検地のまとめ

二 山林

1 概説 2 御林 3 御竹藪 4 百姓持ち林 5 入会山と山論

第四節 貢租 課役

一本 税

二 雑 税

三 松本藩の年貢免状

1 免状 2 年貢払通 3 幕府領の免状 4 年貢皆済目録

四 年貢の軽減願

五 納高の変遷

六 課 役

1 川干し漁 2 追鳥狩 3 猿狩 4 助郷

第五節 諸 普 請

一 川除普請

二 犀川川除普請の争い

三 沢除普請 橋の架け替え

1 沢除普請 2 登波離橋の架け替え

四 上生坂村の用水普請

五 堰 普 請

六 堤 普 請

第六節 産 業

一 農作物と農業技術

1 農作物の概説 2 稲作 3 雑穀

二 生坂タバコ

1 概説 2 栽培の発展 3 技術の向上 4 販路 運搬方法 5 口銭出入り 6 輸送の仕法書 7 販売方法 8 値段 9 タバコと農村文化 10 池田組のタバコ商人 11 在方荷主の経営

三 養 蚕

四 綿

五 小 杉 紙

六 ミヨウバン

七 水 産

1 犀川のカケ 2 川魚

八 漆

第七節 交通 運輸

一 道路の概要

二 川東の道

1 川手道 2 主な里道 間道

三 川西の道

四 中馬 手馬

1 中馬 2 手馬

五 犀川通船

一	沿革	1	沿革	1
	間と運賃	2	通船開始	2
		3	通船荷物	3
		4	運航時	4
六	渡船場と橋	三〇八		
七	日岐城参拝 善光寺参礼記	三二〇		
第八節 文化				三二二
一	寺子屋	三二三		
二	心学	三二七		
三	俳諧	三二九		
四	祭礼時の狂言	三三〇		
五	神社建築の工人	三三三		
六	半鐘 鉦 鰐口 神鈴	三五五		
七	漢学者生野臨犀	三五五		
第九節 宗教				三五五
一	神社	三五五		
1	概要	2	神社の分布	3
		3	祭礼	4
		4	祭礼時の	
	争い			
二	寺院	三三〇		
1	概要	2	寺と村人	3
		3	常円寺と村民との争い	
三	諸堂	三三三		
1	堂の分布	2	堂の種類	3
		3	堂の規模や除地	
四	修験	三三七		
五	講の信仰	三三六		
六	札所めぐり	三四一		
第一〇節 災害 騒動				三四七
一	概説	三四七		

二	災害	三四八		
1	寛永の凶作	2	元禄 正徳の災害	3
	作 災害	4	明和の大干ばつ	5
		6	文政四年の干ばつ	7
		7	天保の飢饉	8
		8	明治二年の凶作	9
		9	郷倉への貯穀	10
		10	善光寺地震	
三	貞享騒動	三六三		
第一一節 日常生活				三六七
一	いろいろな証文 届	三六七		
1	奉行人請状	2	離縁状	3
	証文	5	座頭 ござのねだり	6
		6	博奕の罰金	
二	音信帳	三七三		
三	雨ごい	三七七		
1	川手組の雨ごい	2	池田組の雨ごい	3
	権現のお鉢掘り		滝ノ沢	
四	民家	三八〇		
1	概説	2	中期の家	3
		3	後期の家	4
		4	豪農の	
五	食べ物	二六六		
六	榎相場 貨幣相場	二六七		
七	その他	二六九		
1	農村商人	2	出稼ぎ人	3
	前	5	小部落別家数	
		3	合地	4
		4	女の名	
第一二節 幕末から明治維新				二九三
一	和宮御通行	二九三		
二	長州征伐の軍夫	二九六		
三	会田騒動	二九八		

四 村の様子……………三〇四

1 人々の苦しみと救恤……………2 贖二分金問題……………3 維新と村役人と人々の生活……………

第五章 近現代……………三〇七

第一節 政治 財政 治安……………三〇七

一 明治からの地方自治……………三〇七

二 行政区画の変遷……………三〇八

三 明治初年の自治機構……………三〇八

1 村役人から戸長へ……………2 区制の七年間……………3 戸籍の編成……………

四 新村の誕生……………三二二

五 戸長役場の仕事……………三二三

六 町村制の改正……………三二三

七 明治 大正時代の村の事業……………三三三

八 明治からの土地財政……………三三四

1 地租改正……………2 壬申地券……………3 現地目調査……………

九 明治 大正時代の財政……………三五五

1 戸長役場の財政……………2 町村制下の村財政事情……………

一〇 昭和からの地方自治……………三五六

1 戦前 戦中、苦難の村政……………2 戦後の混乱期……………

3 新憲法下の地方自治……………4 村づくり事業へ総力……………

5 合併への動き……………6 新「生坂村」の発足……………7 すずむ地域開発……………8 合併以来の村議会……………9 各種委員会……………

地区組織……………

一一 昭和に入つての村財政……………三三六

1 昭和初年の村財政……………2 戦後の村財政……………3 合併発足後の決算額推移……………

一二 警察……………三三〇

1 激動の変遷から民主警察へ……………2 新憲法下の警察……………

3 近年の犯罪 事故傾向……………

一三 消防団……………三三三

1 消防組の沿革……………2 戦時下の警防団……………3 合併発足後の近代消防団……………4 広域消防機構の発足……………

第二節 戸数 人口……………三五五

一 明治からの推移……………三五五

二 産業別人口……………三五六

三 年齢別構成……………三五七

四 集落別戸数 人口の変遷……………三五八

五 転出と過疎対策……………三四〇

第三節 福祉 厚生……………三四三

一 保健 衛生……………三四三

1 伝染病への取り組み……………2 成人病の状況……………3 医療施設……………4 保健婦 助産婦の活動……………5 保健施設……………

二 水道……………三四五

1 井戸水からの改善……………2 全村水道の完成……………3 明科からの分水……………

三 保育園と児童福祉……………三四七

1 季節保育所の発足……………2 保育園のあゆみ……………3 児童遊園地の整備……………

四 高齢者福祉……………三五〇

1 デイサービスセンター「かしわ荘」 2 社会福祉協議会  
 3 授産所 4 民生委員制度 5 長寿会  
 五 災 害……………三三三

第四節 軍事と満州開拓……………三三七

1 豪雨 地すべり災害 2 防災対策 3 火災  
 4 農業災害……………三五九

二 徴兵検査……………三六〇

二 日清 日露戦争……………三六〇

三 満州事変と日中戦争前……………三六一

四 日中戦争と太平洋戦争……………三六二

五 戦 没 者……………三六四

六 軍事関係団体……………三六五

七 満州開拓……………三六七

第五節 産 業……………三六九

一 農 業……………三六九

1 立地条件 2 明治 大正の農業 3 昭和 戦時

下の農業と統制 4 戦後の苦難と復興 5 農地改革

6 農業振興 7 農家構造に大きな転機 8 農業者

口の高齢化と耕作ばなれ 9 作目別の経過概況

10 養蚕 11 新振興策となった特産 12 ブドウ団地

の造成 13 農産加工施設と特産品開発 14 農業関係

団体 機関 15 開田 16 圃場整備事業

二 林 業……………三七一

1 概説 2 生坂村の山林 林業 3 広域森林組合  
 と構造改善事業

三 水 産 業……………三九三

四 鉱 業……………三九三

1 炭鉱で活況の半世紀 2 労働者と事故

五 工 業……………三九五

1 概況 2 戦後の工業振興 3 近年の工業動向

4 発電所……………四〇〇

六 商 業……………四〇〇

1 概説 2 生坂村商工会 3 近年の消費動向

4 生坂村内の企業 5 金融……………四〇五

七 集落活動と生活改善……………四〇五

1 明治 大正時代の動向 2 戦時下の状況 3 戦

後の生活改善……………四〇九

第六節 観 光……………四〇九

一 主な観光拠点……………四〇九

二 各種イベントと観光協会……………四二二

1 イベント 2 観光協会……………四二二

三 宿泊施設など……………四二二

1 村営宿泊施設 2 旅館 民宿……………四二二

四 文化財めぐり……………四二四

1 小立野地区 2 下生野地区 3 上生坂地区

4 下生坂地区 5 日岐地区 6 草尾地区

7 昭津地区 8 大日向地区 9 宇留賀地区

10 古坂地区……………四二四

第七節 交通 通信……………四二四

一 道 路……………四二四

1 川手街道(犀川線 国道一九号) 2 県道……………四二四

- 3 村道
- 二 橋とその変遷……………四二五
- 三 交 通……………四二六
  - 1 バス運行のあゆみ 2 自動車の増加と交通量……………四二六
  - 3 犀川の渡し船……………四二六
- 四 通 信……………四三〇
  - 1 郵便 2 電信 3 電話 4 有線放送……………四三〇
  - 5 防災行政無線……………四三一
- 五 電 灯……………四四一
- 六 放 送……………四四二
  - 1 ラジオ 2 テレビ……………四四二
- 第八節 教育 文化……………四四四
  - 一 教育委員会……………四四四
  - 二 小 学 校……………四四五
    - 1 小学校の創立 2 国民学校令の時代 3 戦後の教育 六 三制 4 旧小学校の沿革 5 学校の思い出 6 統合小学校の誕生……………四四五
  - 三 中 学 校……………四四五
    - 1 生坂中学校の沿革 2 教育目標 3 教育活動……………四四五
    - 4 校舍新築当時の思い出……………四五五
  - 四 青年教育……………四五六
    - 1 実業補習学校と青年訓練所 2 青年学校 3 定時制高校……………四五六
  - 五 社会教育関係機関 団体……………四六一
    - 1 青年会 青年団 2 少年団 3 婦人会……………四六一
    - 4 公民館 5 B & G 海洋センター 6 社会教育委……………四六一

- 六 文 化……………四七三
  - 1 句碑と歌碑 2 俳句額と俳人 3 近年の俳人……………四七三
  - 4 文化財保護委と指定文化財……………四七三

第九節 人物 誌……………四八二

- 平林鳳二 加藤正治 平林利作 丹下坂(平林)
- 宇良 宮川良治 宮川豊城 平林昌樹 平林行雄
- 雄 井口周司 平林盈淑 宮川安太郎 久保田完司
- 山崎競 宮川安六良 赤羽五郎 田多井四郎治
- 平野廣三郎 宮木権吾 小林益美 生野臨犀
- 藤原和市 宮木忠寿 下条久馬 伊藤弘
- 井口茂 丸山益延 丸山龍治 中山治作
- 中山雄一 腰原武平 小林勇衛 勝家隆義 牛越久瑳
- 井口順斉 柳澤源弥 松島富三郎 平林弥源太
- 高野倉藏 覚道和尚 安坂万四郎 寺島九一
- 市川源四郎 腰原忠左衛門 宮島正澄 中村源左衛門
- 小林甚内 牛越治左衛門……………四八六
- 第一〇節 宗 教……………四八六
  - 一 神 社……………四八六
    - 1 沿革 2 鎮守神 氏神 産土神 3 祭日 祭典……………四八六
    - 4 神社一覧 5 地区の小社 祠……………四八六
  - 二 寺 院……………四八六
    - 1 生宝山照明寺 2 月照山正福寺 3 法光山常円寺 4 常清寺 5 大法寺 6 真正寺 7 諸堂……………四八六

次 第六章 地区誌……………五〇五

はじめに……………五〇五

第一節 小立野地区……………五〇五

一 小立野村のあゆみ……………五〇五

二 主な産業の今昔……………五〇七

三 交 通……………五〇〇

四 災 害……………五〇二

五 祭 礼……………五〇二

六 各種団体の今昔……………五〇二

七 学校生活……………五〇三

八 『清水誌』……………五〇五

第二節 下生野地区……………五〇七

一 下生野村のあゆみ……………五〇七

二 主な産業の今昔……………五〇八

三 災 害……………五〇三

四 祭 礼……………五〇三

五 施設 団体……………五〇四

六 昔 の 話……………五〇四

七 『池沢誌』……………五〇七

八 白牧部落の消滅……………五〇七

第三節 上生坂地区……………五〇六

一 上生坂村のあゆみ……………五〇六

二 主な産業の今昔……………五〇九

三 交通と災害……………五〇三

四 祭 礼……………五三三

五 各種団体……………五三四

六 公共施設……………五三六

七 『小舟誌』……………五三六

第四節 下生坂地区……………五〇二

一 下生坂村のあゆみ……………五〇二

二 主な産業の今昔……………五〇三

三 交 通……………五〇五

四 災 害……………五〇七

五 祭 礼……………五〇八

六 施設 団体……………五〇二

七 『木竹誌』……………五〇二

八 『丸山誌』……………五〇三

九 『入山誌』……………五〇四

第五節 日岐地区……………五〇六

一 日岐村のあゆみ……………五〇六

二 主な産業の今昔……………五〇七

三 交 通……………五〇八

四 災 害……………五〇九

五 祭りと遊芸……………五〇九

六 公共施設……………五〇〇

七 団体活動……………五〇一

八 『白日誌』……………五〇一

第六節 草尾地区……………五〇四

一 草尾村のあゆみ……………五〇四



二 主な産業の今昔	五五	二 主な産業の今昔	五九四
三 交 通	五六	三 交 通	五七七
四 災 害	五九	四 災 害	五九八
五 祭礼 娯楽	五〇	五 祭 礼 娯 楽	五九八
六 公共施設	五二	六 公共施設 簡易水道	六〇〇
七 小学校の思い出	五三	七 各種団体の今昔	六〇〇
八 《袖山小誌》	五三	八 各部落小史	六〇二
九 《長谷久保誌》	五四	第一〇節 古坂地区	六〇四
第七節 昭津地区	五六	一 概 況	六〇四
一 自然 変遷	五六	二 主な産業の今昔	六〇四
二 主な産業の今昔	五七	三 交 通	六〇六
三 交 通	五八	四 災 害	六〇六
四 祭 礼	五九	五 祭礼 娯楽	六〇七
五 施 設	五九	六 施設 水道 団体	六〇九
六 昔のくらし	六一	七 あい次ぐ集団移住	六二〇
第八節 大日向地区	五三		
一 大日向村のあゆみ	五三		
二 主な産業の今昔	五四		
三 交 通	五七		
四 災 害	五八		
五 祭り 行事	五八		
六 施設と団体	五九		
七 昔の学校生活	五九		
第九節 宇留賀地区	五三		
一 宇留賀村のあゆみ	五三		

民俗編

第一章 社会生活

第一節 ムラの発生

一 ムラのおこり	六五
二 ムラの草分け	六五
三 同 族	六七

1 同族の呼称	2 同族の關係と付き合い	六八
第二節 ムラの組織		六八

一 ムラの寄り合い	六八
二 寄り合いの内容	六九
三 役員呼び方 選出	六九

## 第二章 人の生—通過儀礼—

第一節 出産と育児	六三
-----------	----

一 出 産	六三
二 育 児	六五
三 成人後の通過儀礼	六七

第二節 婚 姻	六九
---------	----

一 結婚まで	六九
二 結 婚 式	六一

第三節 葬 礼	六三
---------	----

一 死去時の作法	六三
二 葬儀の準備	六三
三 葬 儀	六四
四 死後の供養	六五

## 第三章 年中行事

第一節 正月の準備	六六
-----------	----

一 すすはらい	六六
二 年 取 り	六七

第二節 大正月(新年の行事)	六九
----------------	----

一 元 日	六九
-------	----

二 松の内の行事	六九
----------	----

三 三九郎(おんべ)	六九
------------	----

四 蔵開きから晦日正月まで	六九
---------------	----

五 正月のその他の行事	六九
-------------	----

第三節 春の行事	六七
----------	----

第四節 夏の行事	六七
----------	----

一 お盆まで	六七
--------	----

二 お 盆	六七
-------	----

第五節 秋の行事	六七
----------	----

第六節 冬の行事	六七
----------	----

## 第四章 衣食住

第一節 衣 生 活	六七
-----------	----

一 衣生活に用いた材料と用途	六七
----------------	----

二 仕 事 着	六七
---------	----

三 普段着と外出着	六七
-----------	----

四 晴 れ 着	六七
---------	----

五 その他の服装品	六七
-----------	----

六 履物 かぶり物	六七
-----------	----

七 防寒具 雨具	六七
----------	----

八 アクセサリーと衣生活用具	六七
----------------	----

第二節 食 生 活	六八
一 食 料	六八

1 生坂の主食の特色 2 粉食 3 その他の食事  
4 副食物

二 調製 六六六

1 味噌づくり 2 醤油づくり 3 塩酢砂糖

4 嗜好品

三 食具 六七〇

1 食物調製具 2 食事作りの用具 3 食器

四 食制 六七三

第三節 住居 六七三

一 屋敷構え 六七三

1 付属建物 2 母屋と建物の配置

二 建築慣行 六七四

三 台所(お勝手) 六七五

四 水 六七六

五 家具調度 六七七

六 民家の間取り 六七七

第五章 民間信仰と祭り 六八二

第一節 家の神々や仏 六八二

一 家の神 仏 六八二

1 門神 2 屋内の神 仏

二 祖先の祭り(屋敷神) 六八三

三 村の神々 六八四

1 春の祭り 2 夏の祭り 3 秋の祭り

四 祭礼と神役 六八六

五 その他の祭礼や特殊信仰 六八六

第二節 講 六八九

一 庚申講 六八九

二 その他の講 六九一

第六章 祈願と予兆 禁忌 俚諺 六九三

第一節 予兆(俚言) 六九三

一 出産 育児 六九三

二 夫婦関係 六九四

三 不幸や死亡 六九四

四 衣生活 六九五

五 食生活 六九五

六 住生活 六九六

七 身体関係 六九六

八 夢合わせ 六九九

九 気象 七〇〇

一〇 農作業 七〇〇

第二節 まじない 祈願 七〇一

第三節 禁忌 七〇二

一 出産 育児 七〇二

二 夫婦関係 七〇三

三 不幸や死亡 七〇三

四 衣生活 七〇四

五 食生活 七〇五

六 住生活 七〇七

七 その他……………七〇六

第四節 俚 諺……………七〇九

一 衣 生 活……………七〇九

二 食 生 活……………七〇九

三 住 居……………七一〇

四 夫 婦 子 供 嫁 姑……………七一〇

第七章 子供の遊びとわらべ歌……………七二二

第二節 子供の遊びと唱之言葉……………七二二

1 春 2 夏 3 秋 4 冬 5 年間を通じ

ての遊び 6 その他の唱之言葉やはやす歌

第二節 子守歌と民謡 数え歌……………七二〇

第八章 伝説 いわれ……………七三三

1 草や木 2 岩 石 岩穴 3 地蔵 観音

4 塚や墓 5 水(川 池 淵) 6 山 沢

7 社 寺 堂 8 先祖 9 地名 山城 10 鬼

巨人 11 動物 化かされた話 12 神様のたたり

不思議な話 13 雨ごい 14 その他

資 料……………七四二

戦没者名簿 満州開拓団 青少年義勇隊名簿 歴代村三

役員名簿 歴代消防団長 分団長名簿 歴代教育委

員名簿 歴代婦人会長 役員名簿 家号調査

年 表……………七六七

生坂村誌関係者名簿

あとがき